

(様式3)

令和5年度 しまねの公民館次世代参画支援事業 実績報告書

市町村名	雲南市三刀屋町	公民館等の名称	飯石交流センター
------	---------	---------	----------

事業の目的	地区の親子活動に、当事者である保護者が中心となり企画をし、地区住民と子どもたちの多世代交流を行う。 また、地区内での活動を通して、保護者や子どもたちが地元への興味や愛着を持つきっかけをつくる。		
事業の対象	20代～40代の幼・小・中学生の保護者世代		
事業の内容	開催日時	令和5年7月22日(土) 15:00～21:00 令和5年10月29日(日) 13:00～15:30	
	開催場所	旧飯石小学校・飯石地区内	
	具体的な活動内容	<p>●令和5年7月22日(土)『いいし親子デイキャンプ』</p> <p>企画の段階から、保護者を中心に話し合いを重ねた。また、地区住民もキャンプ指導者として一緒に参加してもらった。</p> <p>当日は、子どもたちが普段あまり歩くことのない地区内に出かけ、商店にて夕食の買い出しや、畑でできた野菜を採りに行くなどし、住民と交流をすることができた。</p> <p>事前に地区内に告知放送を流すなどキャンプの周知をし、子どもたちの活動の見守りも住民に呼びかけた。</p> <p>地元中学生のボランティアの参加もあり、テント立て、火起こし体験、バーベキューの準備なども指導者に教わりながら、親子で積極的に取り組むことができた。</p> <p>日が落ちてから旧小学校で行ったきもだめしも、保護者自らがお化け役となり盛り上げ、学校活用にもなった。</p> <p>片付けも、みんなで協力して行うことができ、最後まで楽しい夏の思い出となるような日となった。</p> <p>●令和5年10月29日(日)『いいしハロウィン親子ウォーク』</p> <p>旧飯石小学校にてハロウィンの仮装準備をし、地区内にある『永井隆博士生い立ちの家』まで親子で歩いた。</p> <p>事前に告知放送にて行事の周知をし、地区内の道中の安全や見守りの呼びかけをしたことで、住民の当日の飛び入り参加や、お菓子を配ってもらうなどした。</p> <p>住民の地区内の子どもの想う気持ちを感じることができ、交流もできた。</p> <p>また、飯石郵便局、雲南警察署にも参加協力をお願いし、記念写真の後日郵送をしてもらったり、パトカーも間近で見ることができた。</p>	

生い立ちの家では、ハロウィンの仮装のテーマなどをそれぞれ発表し記念写真を撮るなどして楽しんだ。

親子ともに、地元に残る永井隆博士の生家にもふれる良い機会となった。

●いいし親子デイキャンプ



地区内の商店にておつかい
住民の方には子どもの姿が見え、喜ばれた。



バーベキュー準備
みんなで協力して行うことができた。

●いいしハロウィン親子ウォーク



お菓子をもらう子どもたち
地区住民も一緒に楽しんだ。

成果と
課題
今後の見
通し

保護者を中心に企画をした大きい行事は今回が初めてだったが、大きい事故もなく全体的にはスムーズに行うことができた。

自分の家庭の子どもだけでなく、保護者同士で協力し合い子どもたちみんなに目を配っていた。

子どもだけでなく、保護者、地区住民も楽しむことができた。

事前に地区内に周知することで、住民への興味関心が高まっており、地区内はもちろん郵便局、警察署など多方面の方々の協力も広がった。

保護者、子どもともに、地区住民の想いを感じることができたと思う。

また、保護者から「来年は自分たちでもっと動けるようにしたい。」などの自主的な声もあり、実際に行事を企画、体験した保護者の気づきが多くあったのでよかった。

今後も地域が一体となった子育てや見守りにつながるような活動を積極的に行い、保護者や子どもたちが地元への愛着を持つきっかけづくりにしていきたい。